

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

| | | | | | |
|-------|---------|-----|------|-----|-------------------------|
| 教科・科目 | 数学・応用数学 | 学年 | 第3学年 | 教科書 | |
| | | 単位数 | 3単位 | 副教材 | 数研出版「新課程リンク数学演習 I・A受験編」 |

学習目標
1年で学習してきた数学 I・Aの学習内容を復習し、センター対策等の入試問題を幅広く解くことにより、数学の学力を向上させ受験の備えとする。

学習方法
○1年生で学習した内容の発展・演習を行います。
○1年生で習った公式・解法等しっかり復習をしておくこと。
○授業で習ったことは必ず復習し、次回の授業に備えること。
○家庭学習も併せて行い、課題を毎回提出すること。

| 学習評価 | 評価の観点 | | 科目の評価の観点の趣旨 |
|------|-------|------------|---|
| | ① | 関心・意欲・態度 | 数学の各分野に関心を持ち、数学のよさを認識し、事象の考察に意欲的に取り組む。 |
| | ② | 数学的な見方や考え方 | 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることができる。 |
| | ③ | 数学的な技能 | 事象を数学的に表現・処理する仕方や、推論の方法などの技能を身に付けている。 |
| | ④ | 知識・理解 | 基本的概念、原理・法則などを理解し、関連する知識を身に付けている。 |
| | ⑤ | | |

| 評価の観点 | ①関心・意欲・態度 | ②数学的な見方や考え方 | ③数学的な技能 | ④知識・理解 | ⑤ |
|-------|-----------|-------------|---------|--------|---|
| 授業観察 | ○ | | | | |
| 課題提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 定期試験 | | ○ | ○ | ◎ | |
| 観点別比重 | 20% | 15% | 15% | 50% | |

| 学期 | 内容のまとめ | 時数 | 単元(題材) | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|----|--------|----|--------|-------------|--|----------------------|
| 1 | 数学 I | 12 | 数と式 | 式の計算 | ①数と式に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。 ②数と式に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。 ③数と式に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。 ④数と式に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。 | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| | | | | 実数 | | |
| | | | | 1次不等式 | | |
| | | | | 集合と命題 | | |
| | | 14 | 2次関数 | 2次関数とグラフ | ①2次関数に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。 ②2次関数に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。 ③2次関数に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。 ④2次関数に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。 | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| | | | | 2次関数の値の変化 | | |
| | | | | 2次方程式と2次不等式 | | |
| | | 13 | 図形と計量 | 三角比 | ①図形と計量に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。 ②図形と計量に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。 ③図形と計量に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。 ④図形と計量に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。 | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| | | | | 三角形への応用 | | |

| | | | | | | |
|-------------|------|-----|---------|---------------|---|----------------------|
| 2 | 数学 I | 18 | データの分析 | データの整理・代表値 | <p>①データの分析に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。</p> <p>②データの分析に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。</p> <p>③データの分析に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。</p> <p>④データの分析に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。</p> | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| | | | | データの散らばりと四分位数 | | |
| 分散と標準偏差 | | | | | | |
| データの相関 | | | | | | |
| | | 21 | 場合の数と確率 | 場合の数 | <p>①場合の数と確率に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。</p> <p>②場合の数と確率に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。</p> <p>③場合の数と確率に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。</p> <p>④場合の数と確率に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。</p> | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| | | | | 確率 | | |
| 3 | 数学A | 14 | 図形の性質 | 平面図形 | <p>①図形の性質に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。</p> <p>②図形の性質に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。</p> <p>③図形の性質に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。</p> <p>④図形の性質に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。</p> | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| | | | | 空間図形 | | |
| | | 13 | 整数の性質 | 約数と倍数 | <p>①整数の性質に関する種々の問題について、復習をし、興味を持ち学習する。</p> <p>②整数の性質に関する種々の問題について、問題に対して多面的・発展的に考えることができる。</p> <p>③整数の性質に関する種々の問題について、既習の公式等を利用し、問題を解くのに活用することができる。</p> <p>④整数の性質に関する種々の問題について、既習の知識を利用し、問題への解法に役立てることができる。</p> | 授業観察 課題提出 定期試験 |
| ユークリッドの互除法 | | | | | | |
| 整数の性質と活用 | | | | | | |
| 合計時数(50分授業) | | 105 | | | | |